

(仮称)中央区こども計画(第三期中央区子ども・子育て支援事業計画) 策定に向けた子どもへのアンケート調査結果

1 調査概要

(1) 調査目的

中央区に住む小学生、中学生、高校生世代の生活の状況や放課後の居場所、子どもの権利の認知度、悩みごととその相談先等を把握し、本計画の策定の基礎資料として活用するため。

(2) 調査対象・調査方法

調査区分	調査対象	調査方法
小学生	区立小学校に通う小学6年生 429人 (京橋地域1校、日本橋地域1校、 月島地域2校 計4校)	学校経由でちらしを配布し、 GIGA スクール端末(タブレット) を通じて回答
中学生	中央区に居住する中学2年生 650人 (住民基本台帳から対象者を無作為に抽出)	はがき(二次元コード付き) を郵送し、インターネットで 回答
高校生世代	中央区に居住する高校2年生世代 650人 (住民基本台帳から対象者を無作為に抽出)	

(3) 調査時期

令和6(2024)年5月21日(火)～6月4日(火)

(4) 回収数(回収率)

調査区分	発送・配布数	回答数 (率)
小学生	429票	413票 (96.3%)
中学生	650票	134票 (20.6%)
高校生世代	650票	151票 (23.2%)

(5) 調査項目

分類	設 問	小学生	中学生・高校生世代
基礎情報	就学・就業状況		問 1
	性別	問 1	問 2
	同居家族	問 2	問 3
	ふだんの活動	問 3	問 4
	自分への思い、家族と学校、周囲への思い	問 4	問 5
放課後等の居場所について	放課後等の居場所	問 5	問 6
	ほっとできる居場所	問 5-1	問 6-1
子どもの権利について	子どもの権利の認知度	問 6	問 7
	子どもの権利として大切なこと	問 7	問 8
困りごと、悩みごとについて	困ってることや悩んでいること	問 8	問 9
	話を聞いてくれる人の有無	問 9	問 10
	話を聞いてくれる人	問 9-1	問 10-1
	不登校やいじめ等の経験	問 10	問 11
ヤングケアラーについて	ヤングケアラーの認知度	問 11	問 12
	ヤングケアラーにあてはまると思うか	問 11-1	問 12-1
将来について	将来なりたい職業ややりたいこと	問 12	—
	20 年後の自分のイメージ	—	問 13
中央区について	中央区が好きか	問 13	問 14
	中央区が好きな理由	問 13-1	問 14-1
	中央区に対して意見を伝えやすい方法	問 14	問 15
自由回答	中央区やまわりの大人に伝えたいこと・アンケートの感想	問 15	問 16

(6) 調査結果の見方

- ① 回答は、それぞれの質問の回答者数を基数とした百分率(%)で示している。それぞれの質問の回答者数は、全体の場合はN(Number of case)、それ以外の場合にはnと表記している。
- ② %は小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを表記している。従って、回答の合計が必ずしも 100.0%にならない場合(例えば 99.9%、100.1%)がある。
- ③ 回答者が2つ以上回答することのできる質問(複数回答)については、%の合計は 100%にならないことがある。
- ④ 本文及びグラフ中の設問文ならびに選択肢の表現は一部省略されている。

2 調査結果

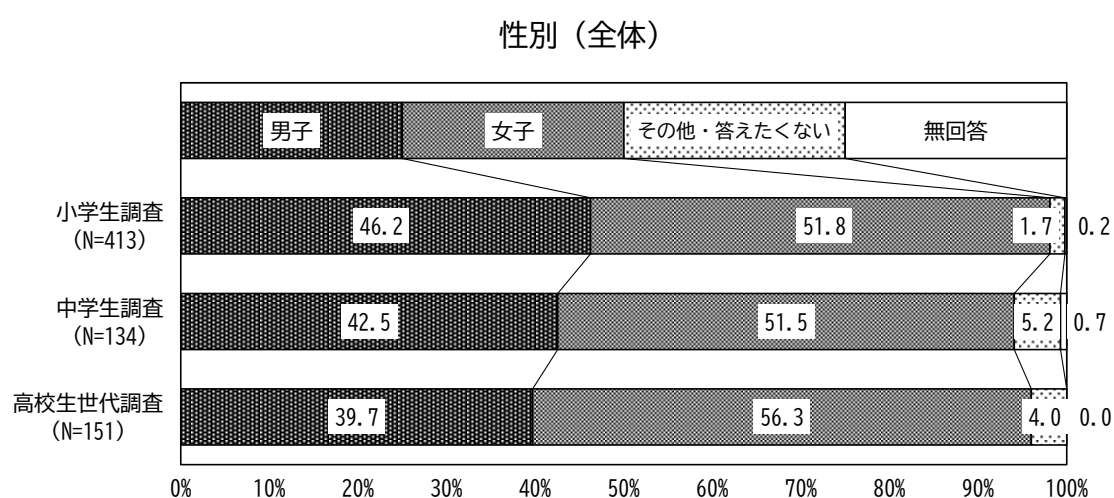
(1) 基礎情報

○性別（小学生調査：問1、中学生調査・高校生世代調査：問2）

性別は、『男子』の割合は、小学生調査では46.2%、中学生調査では42.5%、高校生世代調査では39.7%となっている。

『女子』の割合は、小学生調査では51.8%、中学生調査では51.5%、高校生世代調査では56.3%となっている。

『その他・答えたくない』の割合は、中学生調査で5.2%となっている。

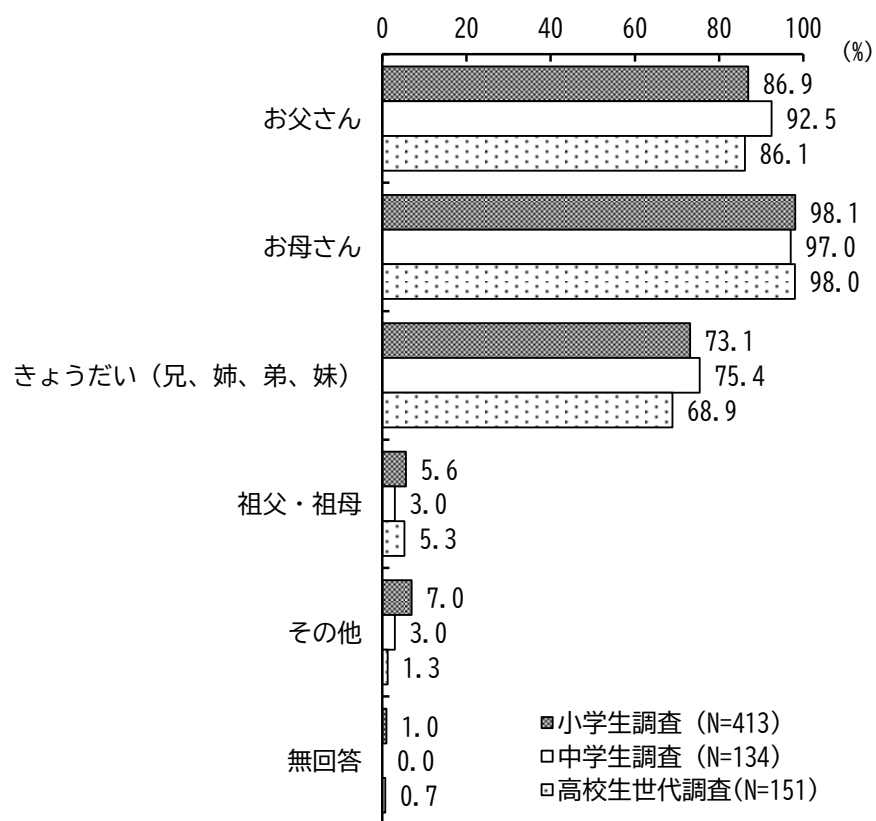


○同居家族（小学生調査：問2、中学生調査・高校生世代調査：問3）

同居家族について、『お父さん』の割合は、小学生調査では 86.9%、中学生調査では 92.5%、高校生世代調査では 86.1%となっている。

『お母さん』の割合は、小学生調査では 98.1%、中学生調査では 97.0%、高校生世代調査では 98.0%となっている。

同居家族（全体）：複数回答

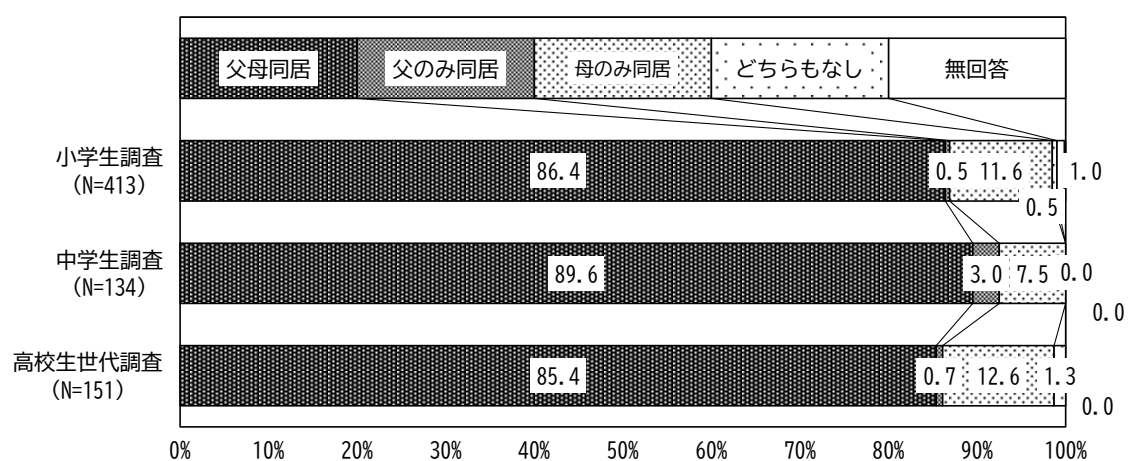


○親との同居状況（小学生調査：問2、中学生調査・高校生世代調査：問3をもとに集計）

親との同居状況について、『父母同居』の割合は、小学生調査では 86.4%、中学生調査では 89.6%、高校生世代調査では 85.4%となっている。

『母のみ同居』の割合は、小学生調査では 11.6%、高校生世代調査では 12.6%と1割を超えている。

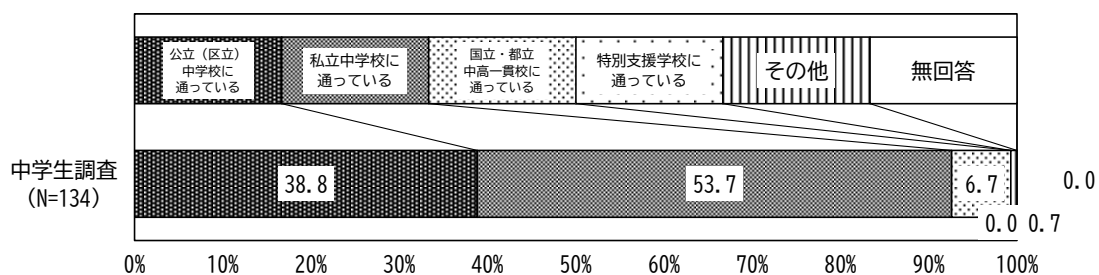
親との同居状況（全体）



○中学生の就学状況（中学生調査：問１）

中学生の就学状況は、『私立中学校に通っている』が 53.7%、『公立（区立）中学校に通っている』が 38.8%、『国立・都立中高一貫校に通っている』が 6.7%となっている。

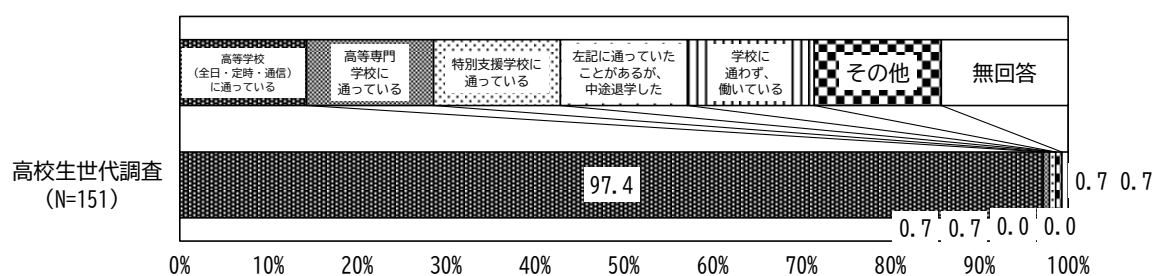
就学状況（全体）【中学生調査】



○高校生世代の就学・就業状況（高校生世代調査：問１）

高校生世代の就学・就業状況は、『高等学校（全日・定時・通信）に通っている』が 97.4%と高く、『左記に通っていたことがあるが、中途退学した』、『学校に通わず、働いている』の該当者はいなかった。

就学・就業状況（全体）【高校生世代調査】



(2) ふだんの活動・自分への思い、家族と学校、周囲への思い

○ふだんの活動（小学生調査：問3、中学生調査・高校生世代調査：問4）

ふだんの活動について、『①テレビ・インターネット（動画など）を見る』について、「毎日2時間以上」の割合は、小学生調査では29.5%、中学生調査では47.8%、高校生世代調査では64.9%であり、年齢が高くなるにつれて割合が高くなっている。

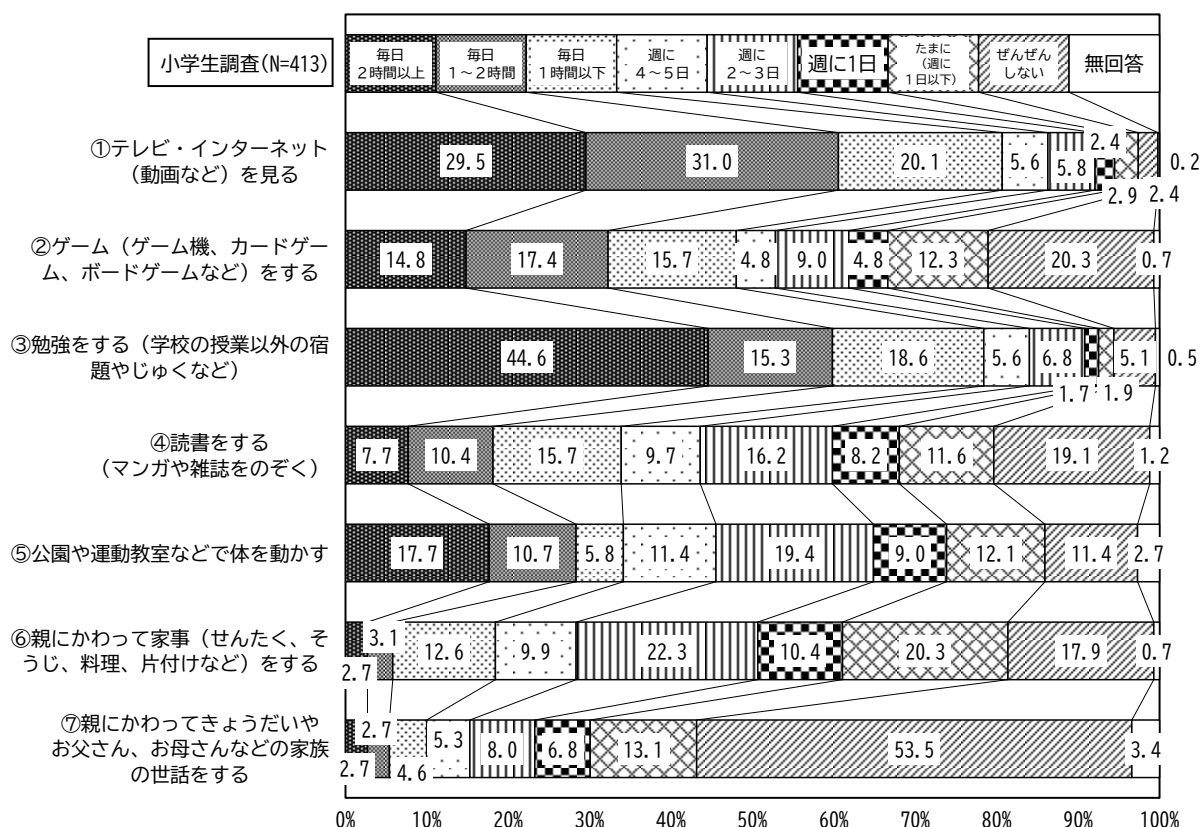
『③勉強をする（学校の授業以外の宿題や塾など）（小学生）』、『③勉強をする（学校の授業以外の宿題や塾・予備校など）（中・高校生世代）』については、『毎日1時間以上』（「毎日2時間以上」、「毎日1～2時間」の合計）の割合は、小学生調査では59.9%、中学生調査では59.0%、高校生世代調査では56.3%となっており、いずれの調査も5割を超えている。

『⑤公園や運動教室などで体を動かす（小学生）』、『⑤公園や部活動などで体を動かす（中・高校生世代）』について、『週に4～5日以上』（「毎日2時間以上」、「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」、「週に4～5日」の合計）の割合は、小学生調査では45.6%、中学生調査では52.2%、高校生世代調査では34.3%となっている。

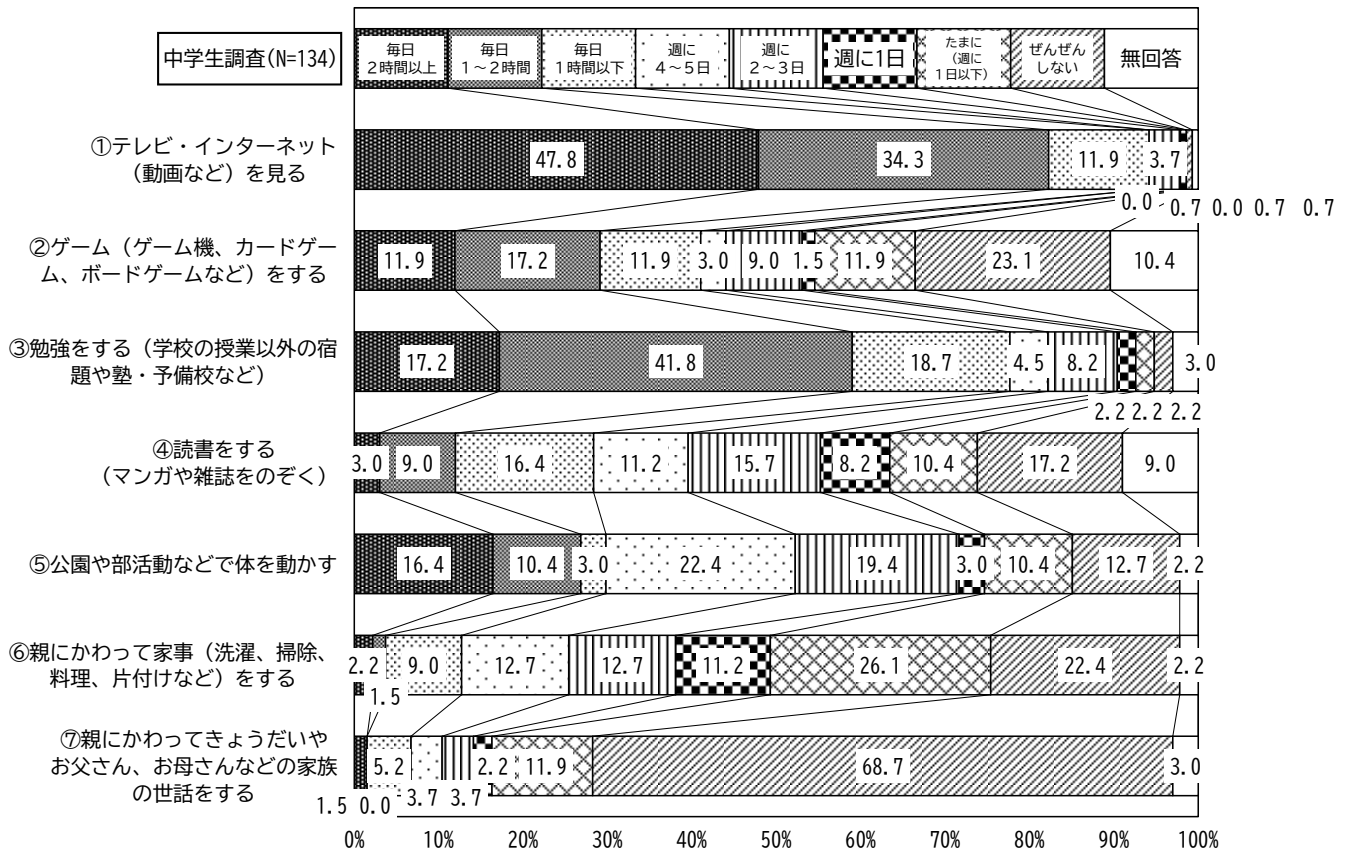
『⑥親にかわって家事（洗濯、掃除、料理、片付けなど）をする』について、『毎日する』（「毎日2時間以上」、「毎日1～2時間」、「毎日1時間以下」の合計）の割合は、小学生調査では18.4%、中学生調査では12.7%、高校生世代調査では16.5%となっている。

『⑦親にかわってきょうだいやお父さん、お母さんなどの家族の世話をする』について、『毎日する』の割合は、小学生調査では10.0%、中学生調査では6.7%、高校生世代調査では4.0%となっている。

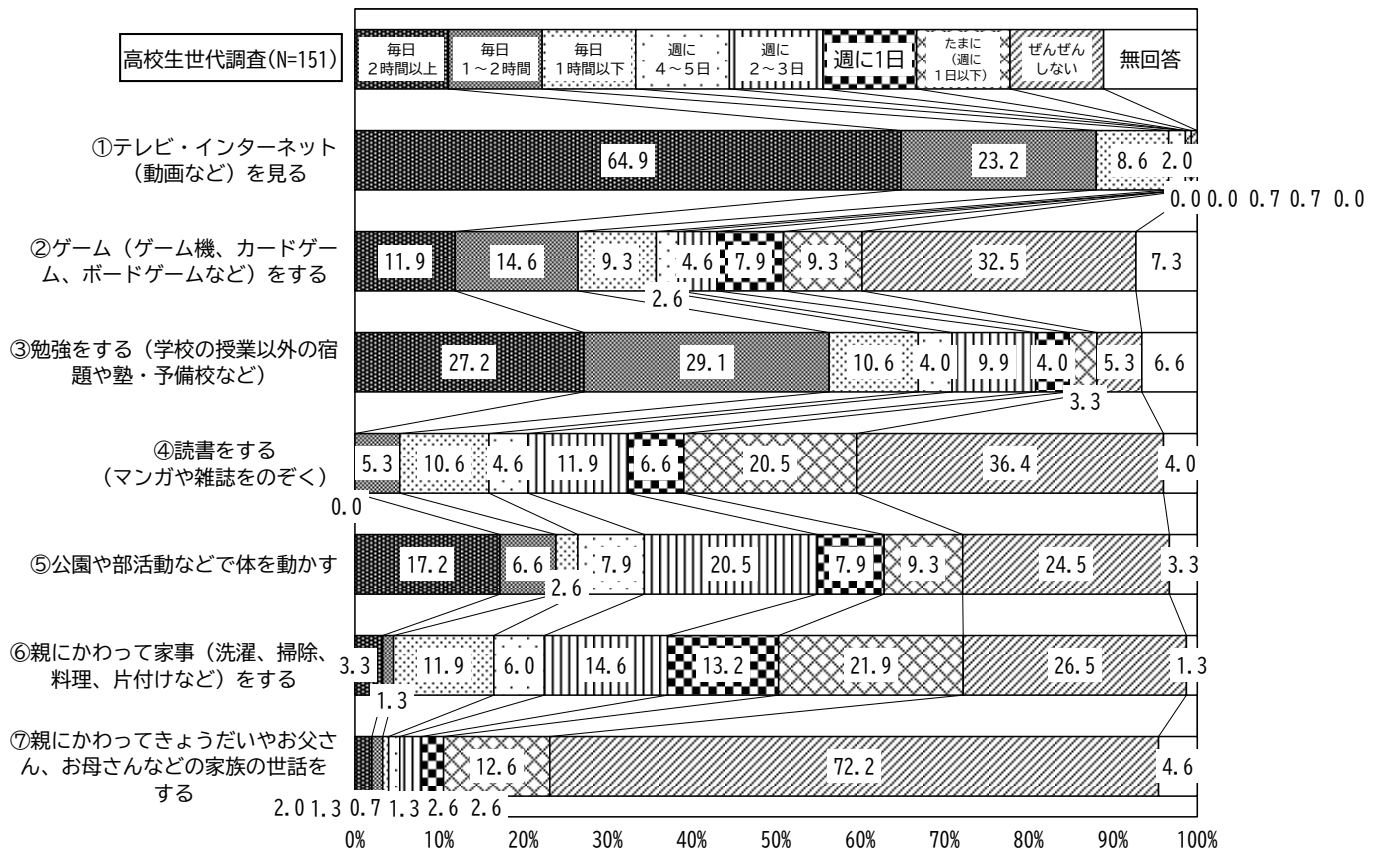
ふだんの活動（全体）【小学生調査】



ふだんの活動（全体）【中学生調査】



ふだんの活動（全体）【高校生世代調査】



○自分への思い、家族と学校、周囲への思い

(小学生調査：問4、中学生調査・高校生世代調査：問5)

自分への思い、家族と学校、周囲への思いは、『①今の生活に満足している』について、『《そう思う》(「とてもそう思う」と「そう思う」の合計)の割合は、小学生調査では86.5%、中学生調査では91.8%、高校生世代調査では78.8%と、いずれの調査も75%を超えている。

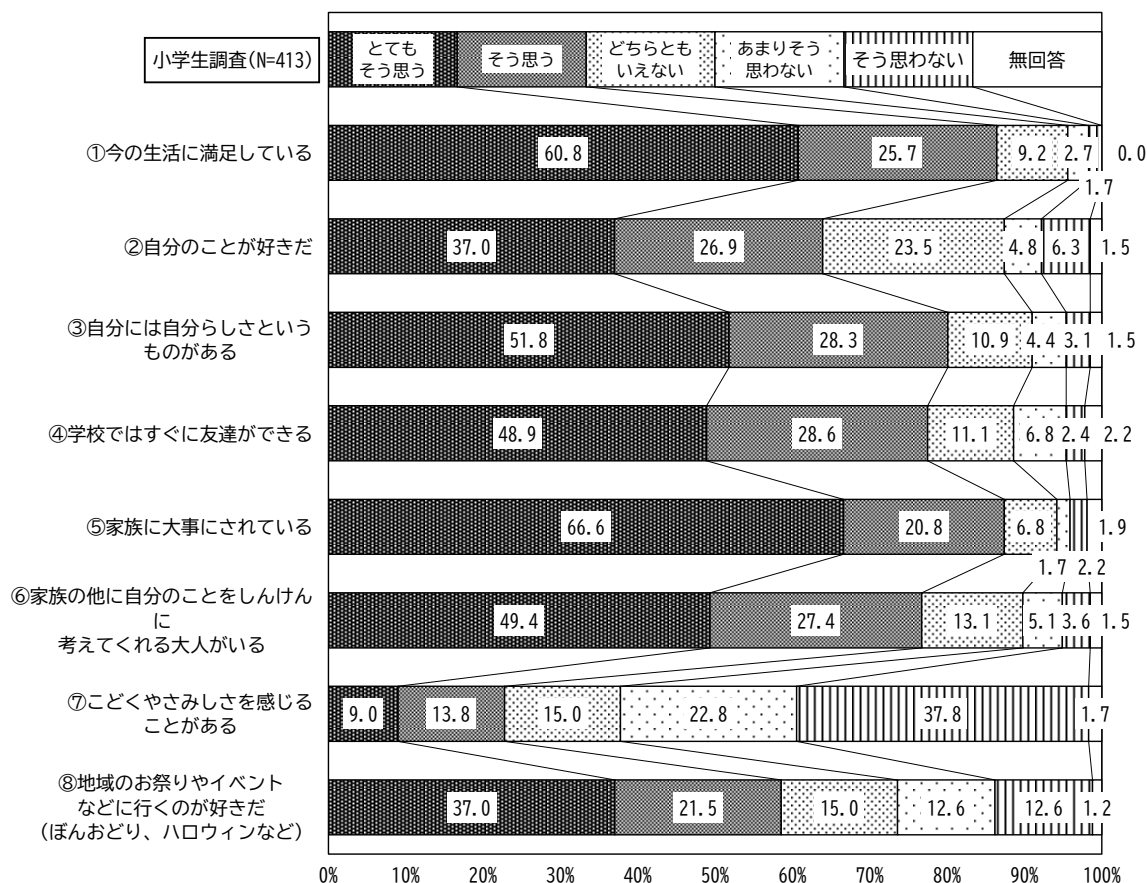
『②自分のことが好きだ』について、『《そう思う》の割合は、小学生調査では63.9%、中学生調査では58.2%、高校生世代調査では62.9%となっている。

『③自分には自分らしさというものがある』について、『《そう思う》の割合は、小学生調査では80.1%、中学生調査では73.9%、高校生世代調査では70.2%と、いずれの調査も7割を超えている。

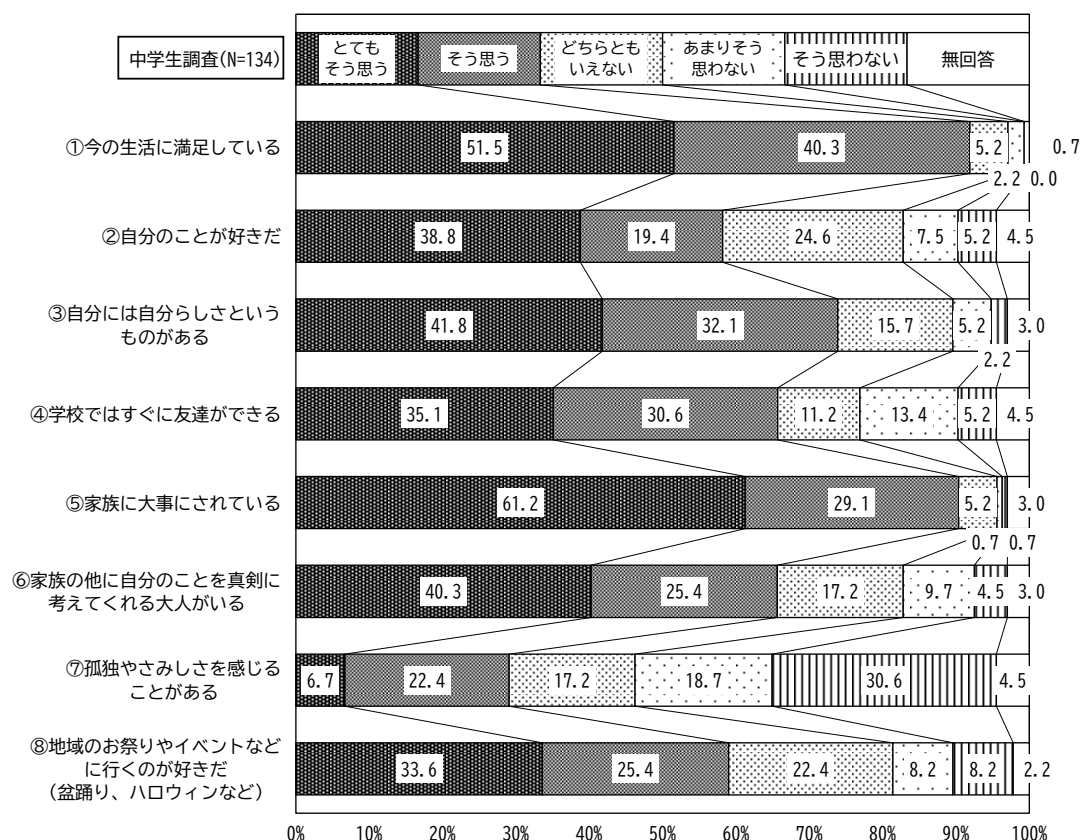
『④学校ですぐに友達ができる』について、『《そう思う》の割合は、小学生調査では77.5%、中学生調査では65.7%、高校生世代調査では64.9%と年齢が高くなるにつれて割合が低くなっている。

『⑦孤独やさみしさを感じることがある』について、『《そう思う》の割合は、小学生調査では22.8%、中学生調査では29.1%、高校生世代調査では32.5%と年齢が高くなるにつれて割合が高くなっている。

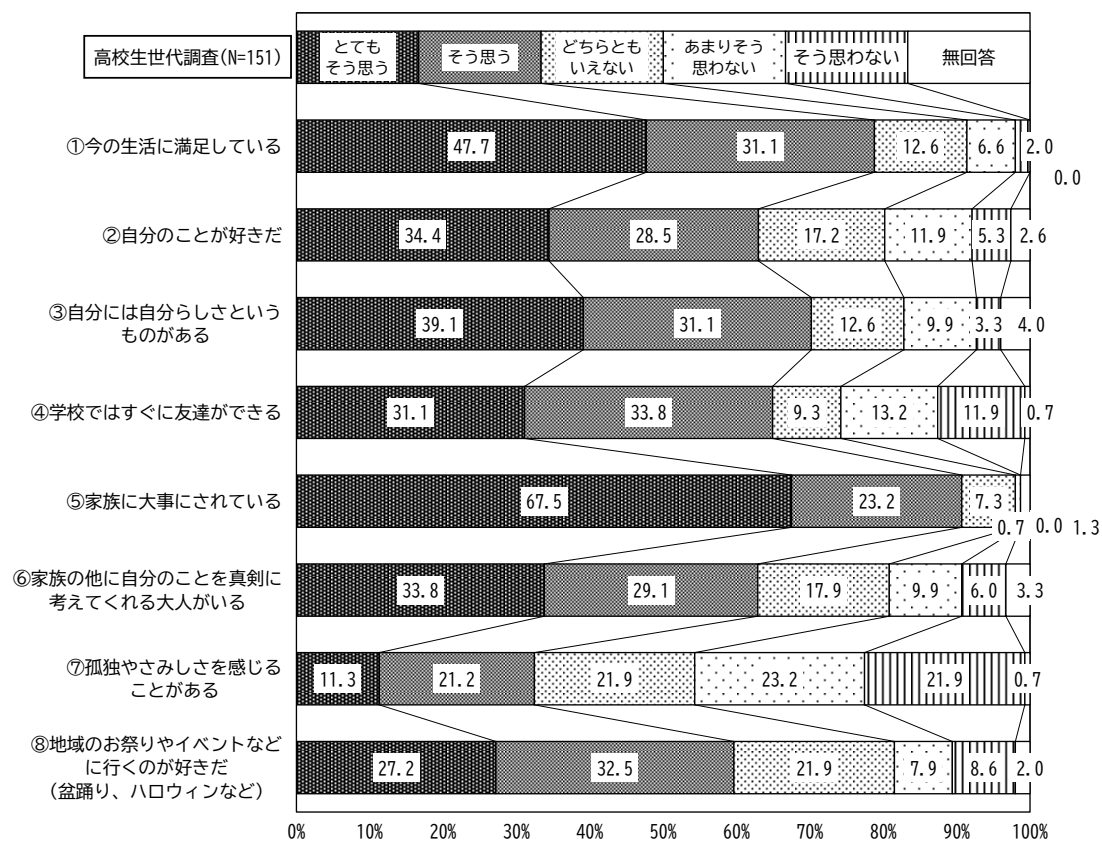
自分への思い、家族と学校、周囲への思い(全体)【小学生調査】



自分への思い、家族と学校、周囲への思い（全体）【中学生調査】



自分への思い、家族と学校、周囲への思い（全体）【高校生世代調査】



(3) 放課後等の居場所

○平日の放課後等（夕方6時くらいまで）の居場所

（小学生調査：問5、中学生調査・高校生世代調査：問6）

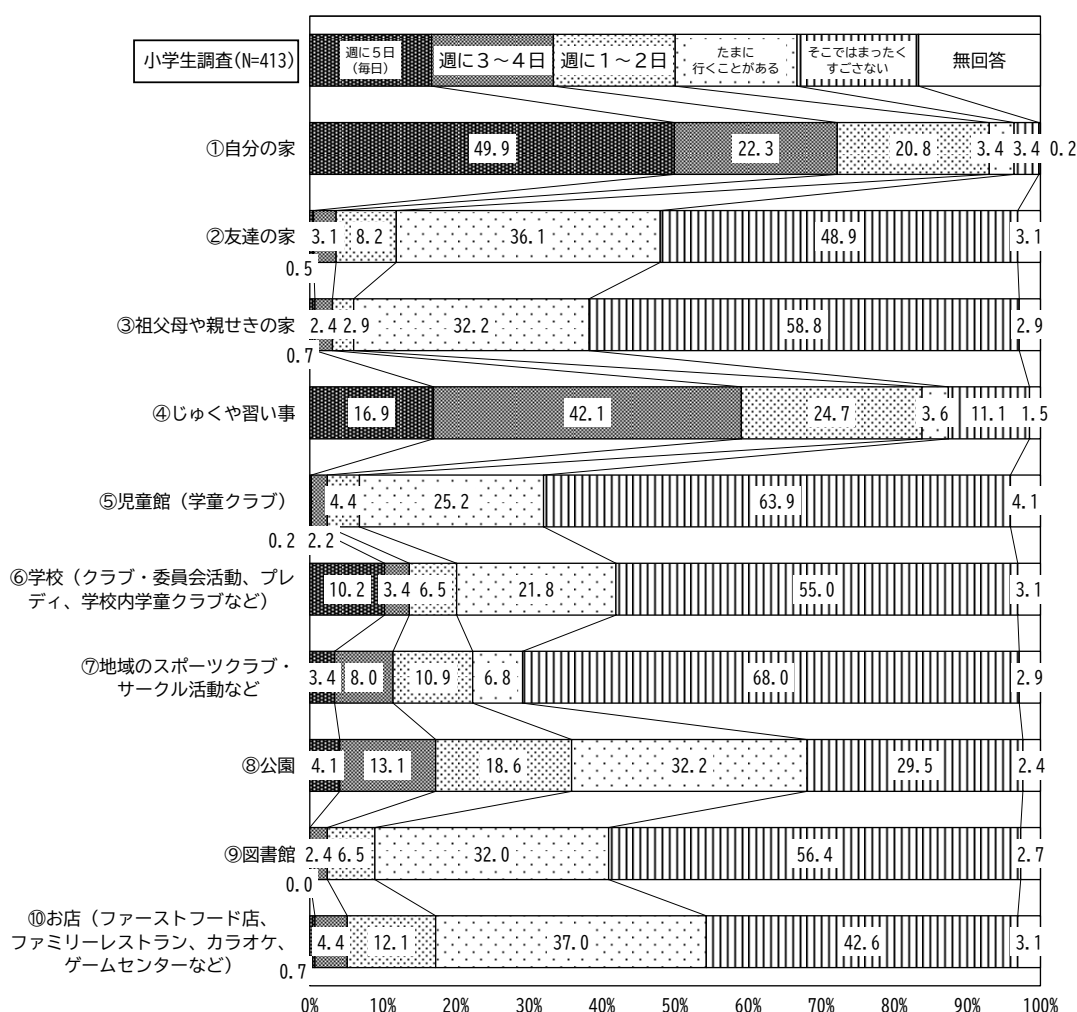
放課後等の居場所は、『①自分の家』について、『週に1日以上過ごす』（「週に5日（毎日）」、「週に3～4日」、「週に1～2日」の合計）の割合は、小学生調査では93.0%、中学生調査では89.6%、高校生世代調査では89.4%となっている。

『④じゅくや習い事（小学生）』、『④塾（予備校）や習い事（中学生・高校生世代）』について、『週に1日以上過ごす』の割合は、小学生調査では83.7%、中学生調査では41.0%、高校生世代調査では45.7%と小学生調査の割合が高くなっている。

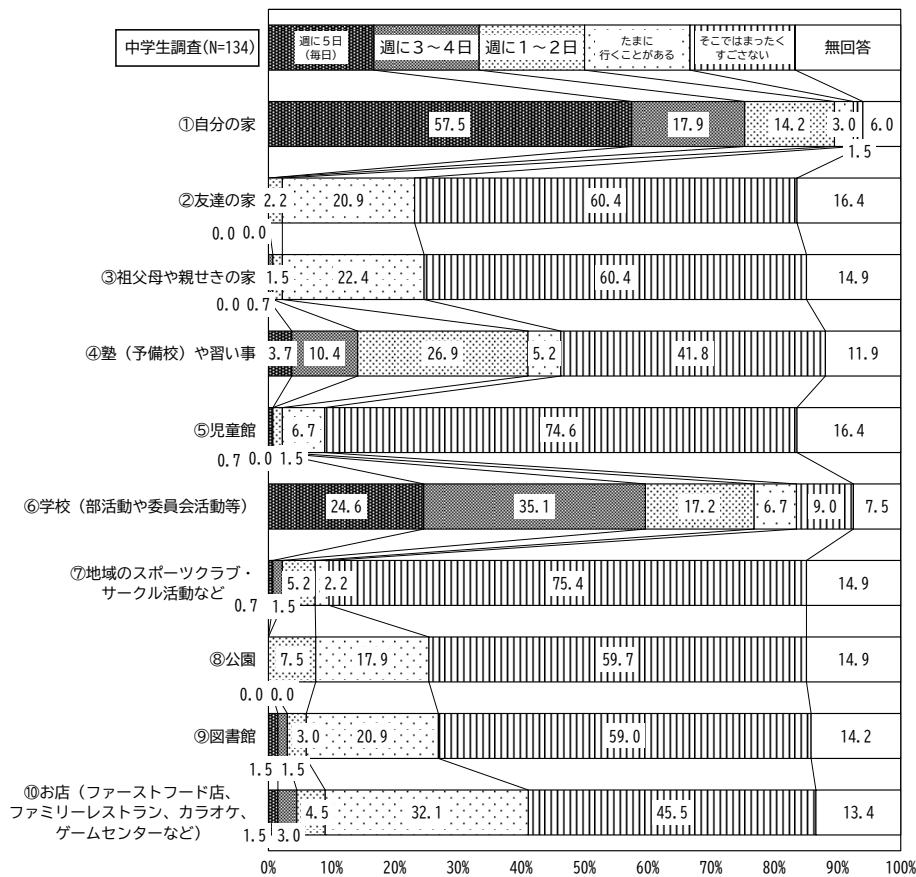
『⑥学校（クラブ・委員会活動、プレディ、学校内学童クラブなど）（小学生調査）』、『⑥学校（部活動・委員会活動等）（中学生・高校生世代）』について、『週に1日以上過ごす』の割合は、小学生調査では20.1%、中学生調査では76.9%、高校生世代調査では66.9%となっている。

『⑨図書館』について、『週に1日以上過ごす』の割合は、小学生調査では8.9%、中学生調査では3.0%、高校生世代調査では9.3%となっている。

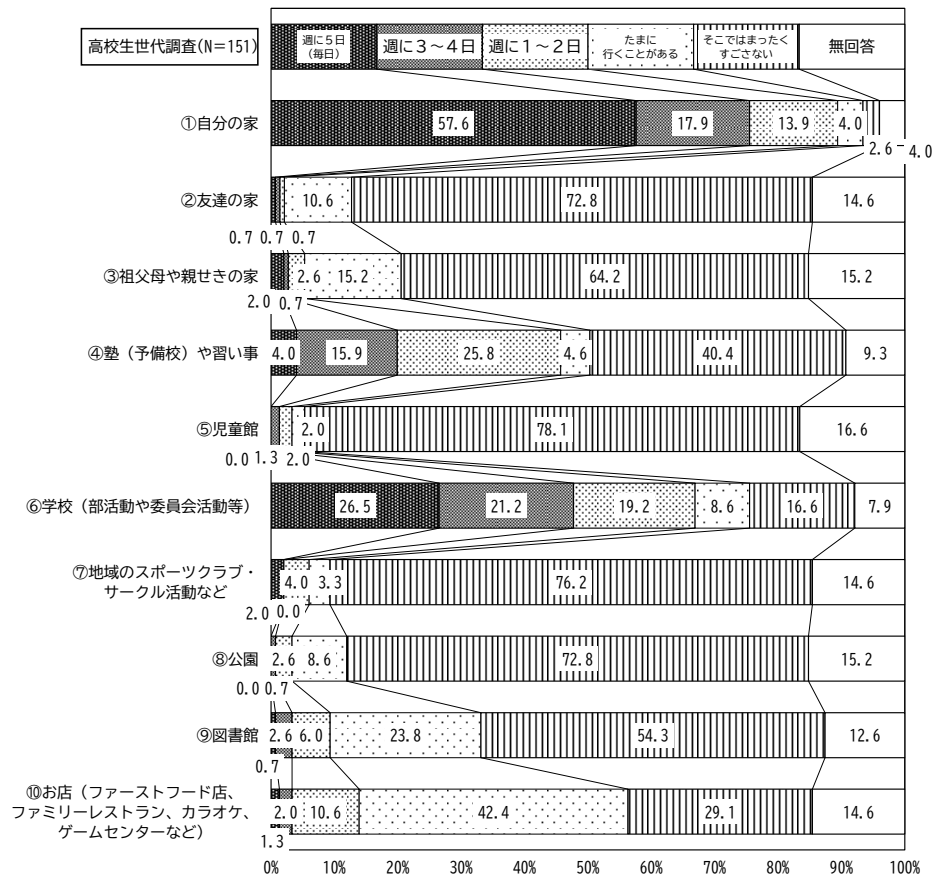
放課後等の居場所（全体）【小学生調査】



放課後等の居場所（全体）【中学生調査】



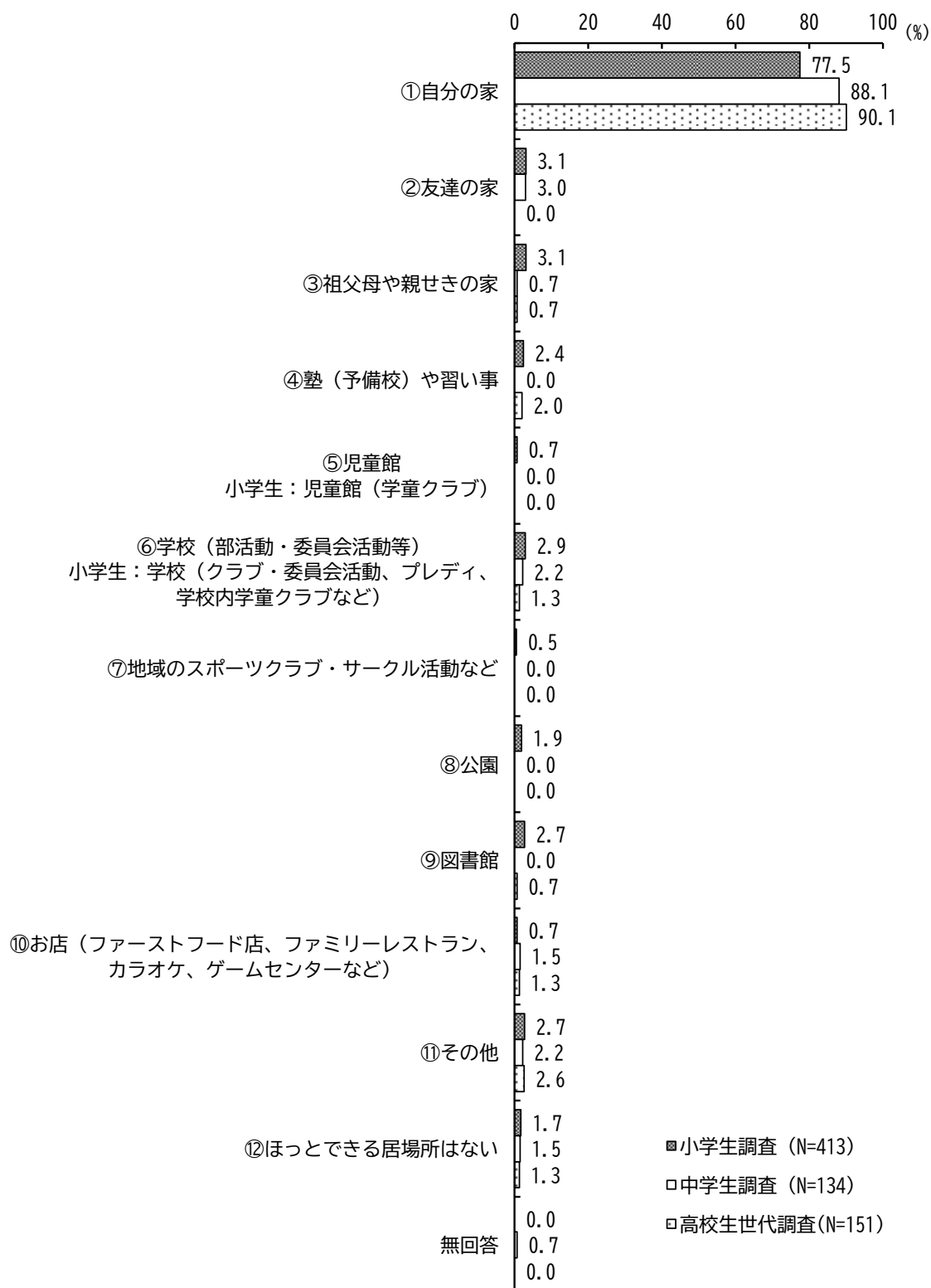
放課後等の居場所（全体）【高校生世代】



○ほっとできる居場所（小学生調査：問5-1、中学生調査・高校生世代調査：問6-1）

ほっとできる居場所について、いずれの調査でも、『①自分の家』が最も高く、小学生調査では77.5%、中学生調査では88.1%、高校生世代調査では90.1%となっている。

ほっとできる居場所（全体）



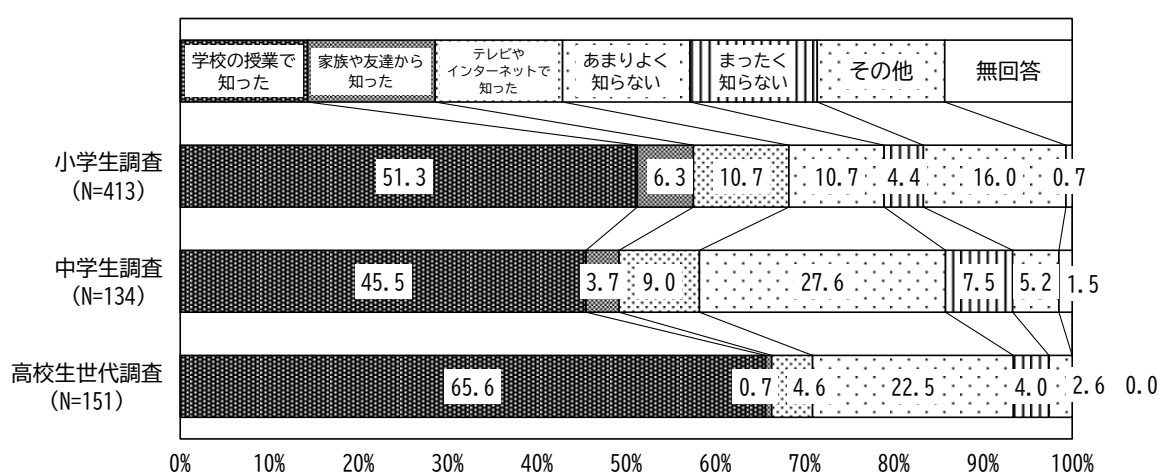
(4) 子どもの権利について

○子どもの権利の認知度（小学生調査：問6、中学生調査・高校生世代調査：問7）

子どもの権利について、《知っている》（「学校の授業で知った」、「家族や友達から知った」、「テレビやインターネットで知った」の合計）の割合が、小学生調査では68.3%、中学生調査では58.2%、高校生世代調査では70.9%となっている。

※ 小学生調査について、「その他（16.0%）」の回答のうち、〔塾で知った〕が14.3%となっている。

子どもの権利の認知度（全体）



○子どもの権利として大切なこと（小学生調査：問7、中学生調査・高校生世代調査：問8）

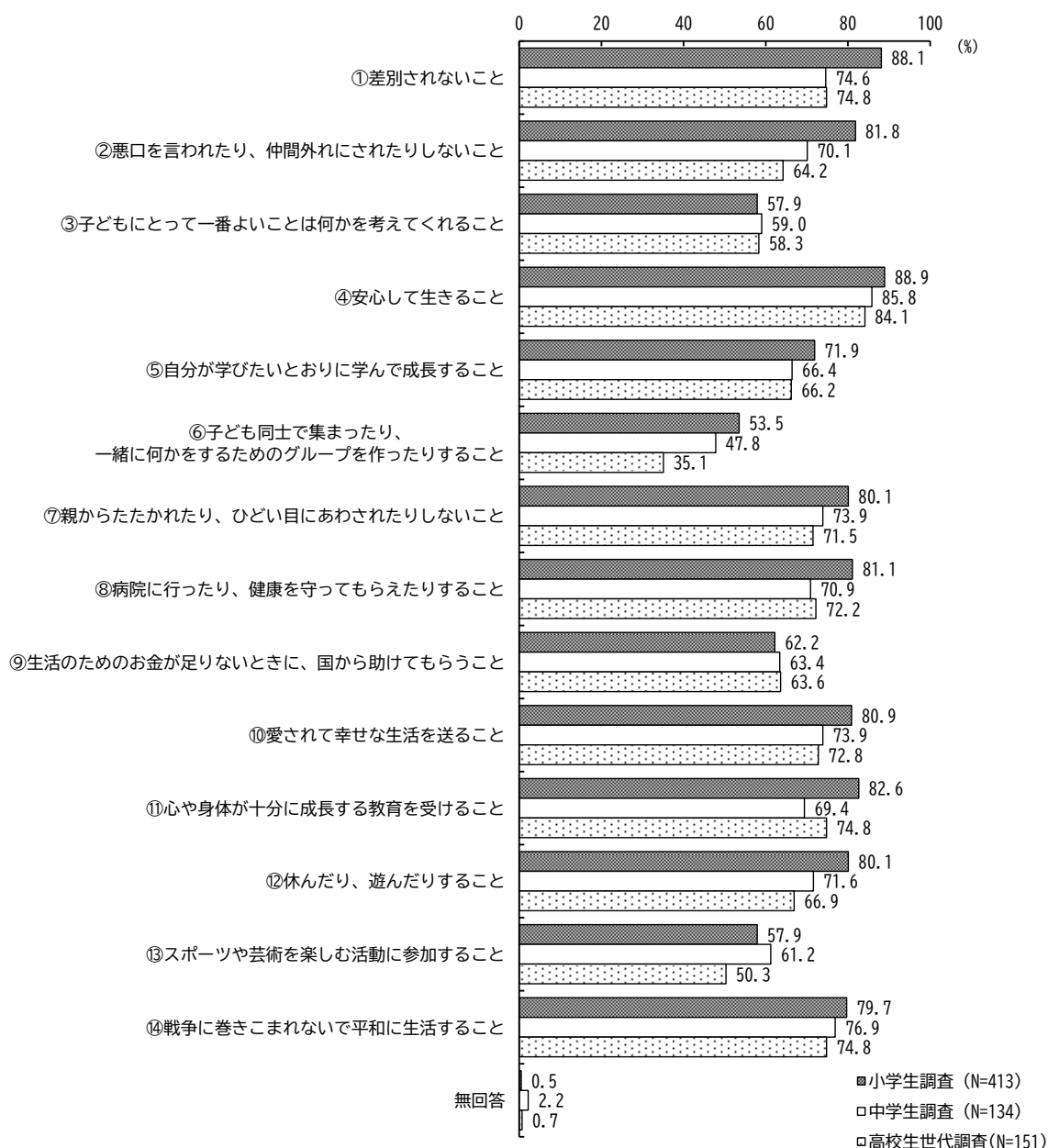
子どもの権利として大切だと思うことについて、いずれの調査でも『④安心して生きること』の割合が最も高くなっている。

小学生調査では、『④安心して生きること（88.9%）』が最も高く、『①差別されないこと（88.1%）』、『⑪心や身体が十分に成長する教育を受けること（82.6%）』が続いている。

中学生調査では、『④安心して生きること（85.8%）』が最も高く、『⑭戦争に巻きこまれないで平和に生活すること（76.9%）』、『①差別されないこと（74.6%）』が続いている。

高校生世代調査では、『④安心して生きること（84.1%）』が最も高く、『①差別されないこと（74.8%）』、『⑪心や身体が十分に成長する教育を受けること（74.8%）』、『⑭戦争に巻きこまれないで平和に生活すること（74.8%）』が続いている。

子どもの権利として大切なこと（全体）：複数回答



(5) 困りごと、悩みごとについて

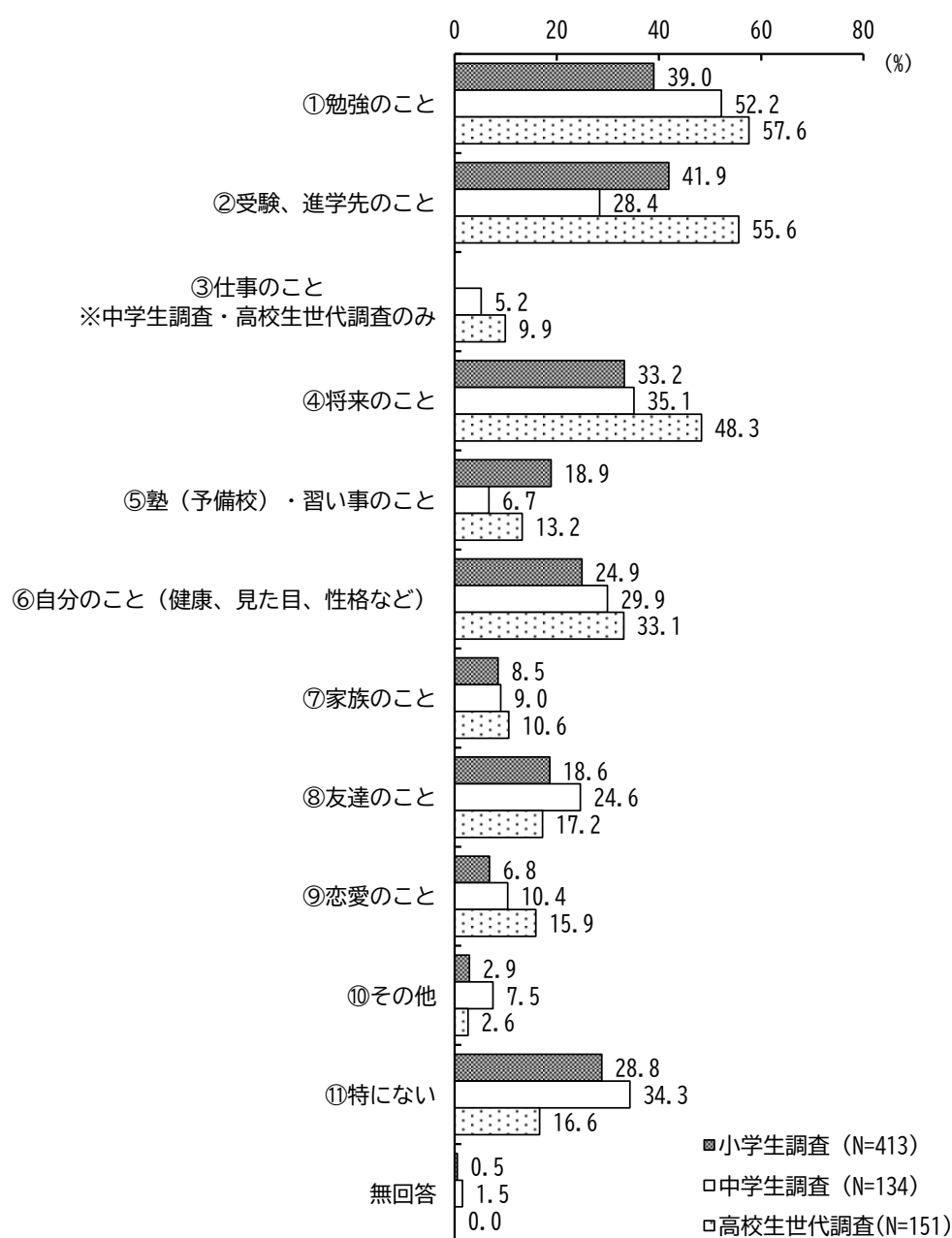
○困っていることや悩んでいること（小学生調査：問8、中学生調査・高校生世代調査：問9）

困っていることや悩んでいることについて、小学生調査では、『②受験、進学先のこと（41.9%）』が最も高く、『①勉強のこと（39.0%）』、『④将来のこと（33.2%）』が続いている。

中学生調査では、『①勉強のこと（52.2%）』が最も高く、『④将来のこと（35.1%）』、『⑪特にない（34.3%）』が続いている。

高校生世代調査では、『①勉強のこと（57.6%）』が最も高く、『②受験、進学先のこと（55.6%）』、『④将来のこと（48.3%）』が続いている。

困っていることや悩んでいることについて（全体）：複数回答



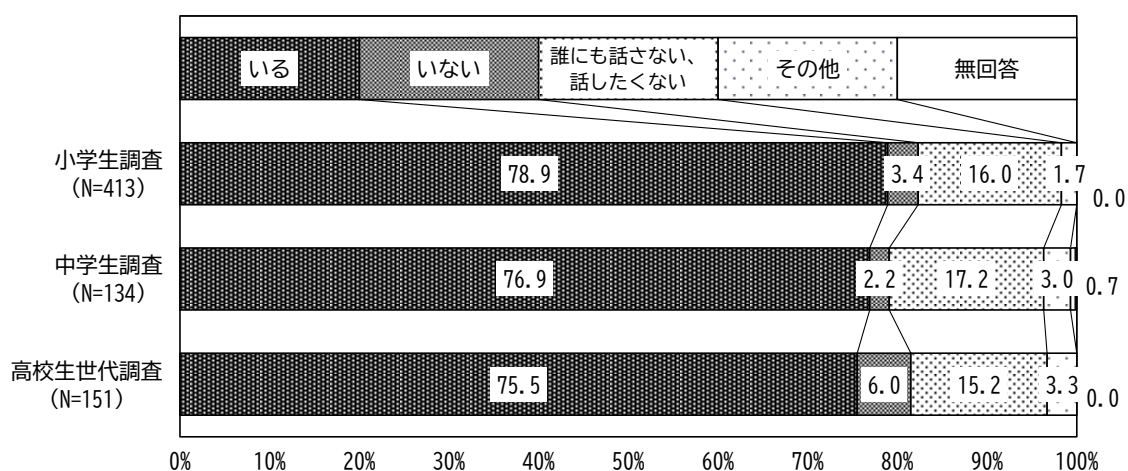
○話を聞いてくれる人の有無（小学生調査：問9、中学生調査・高校生世代調査：問10）

困っていることや悩んでいることがあるときに話を聞いてくれる人の有無は、『いる』は、小学生調査では 78.9%、中学生調査では 76.9%、高校生世代調査では 75.5%となっており、いずれの調査も 75%を超えている。

『いない』は、小学生調査では 3.4%、中学生調査では 2.2%、高校生世代調査では 6.0%となっている。

『誰にも話さない、話したくない』は、小学生調査では 16.0%、中学生調査では 17.2%、高校生世代調査では 15.2%となっている。

困っていることや悩んでいることがあるときに話を聞いてくれる人の有無（全体）



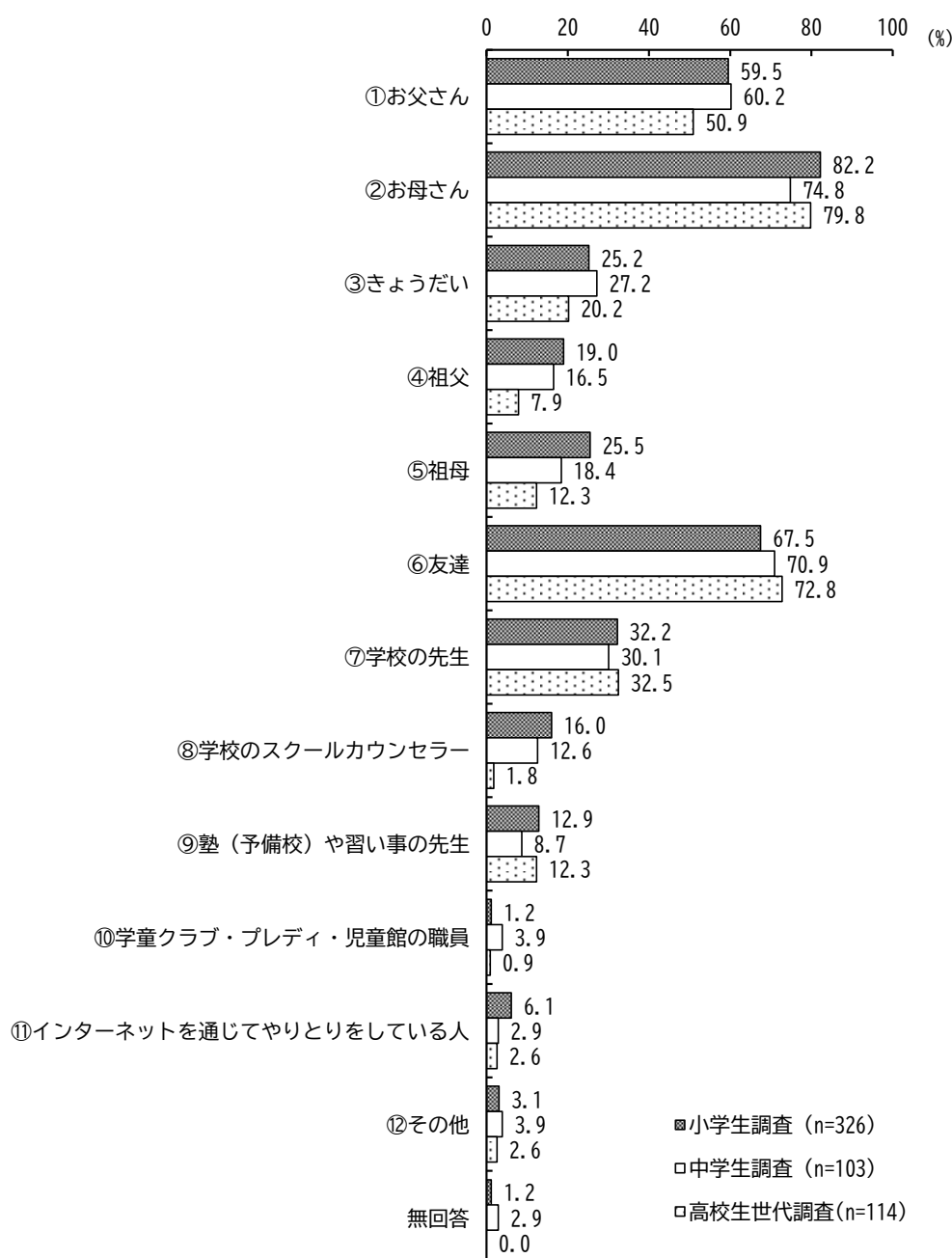
○話を聞いてくれる人（小学生調査：問9-1、中学生調査・高校生世代調査：問10-1）

困っていることや悩みごとがあるときに話を聞いてくれる人がいると回答した人に、それは誰かたずねたところ、いずれの調査でも『②お母さん』が最も高く、小学生調査では82.2%、中学生調査では74.8%、高校生世代調査では79.8%となっている。

次点は、いずれの調査でも、『⑥友達』となっており、その割合は小学生調査では67.5%、中学生調査では70.9%、高校生世代調査では72.8%と年齢が高くなるにつれて割合が高くなっている。

話を聞いてくれる人（全体）：複数回答

<困っていることや悩みごとがあるときに話を聞いてくれる人がいる人>



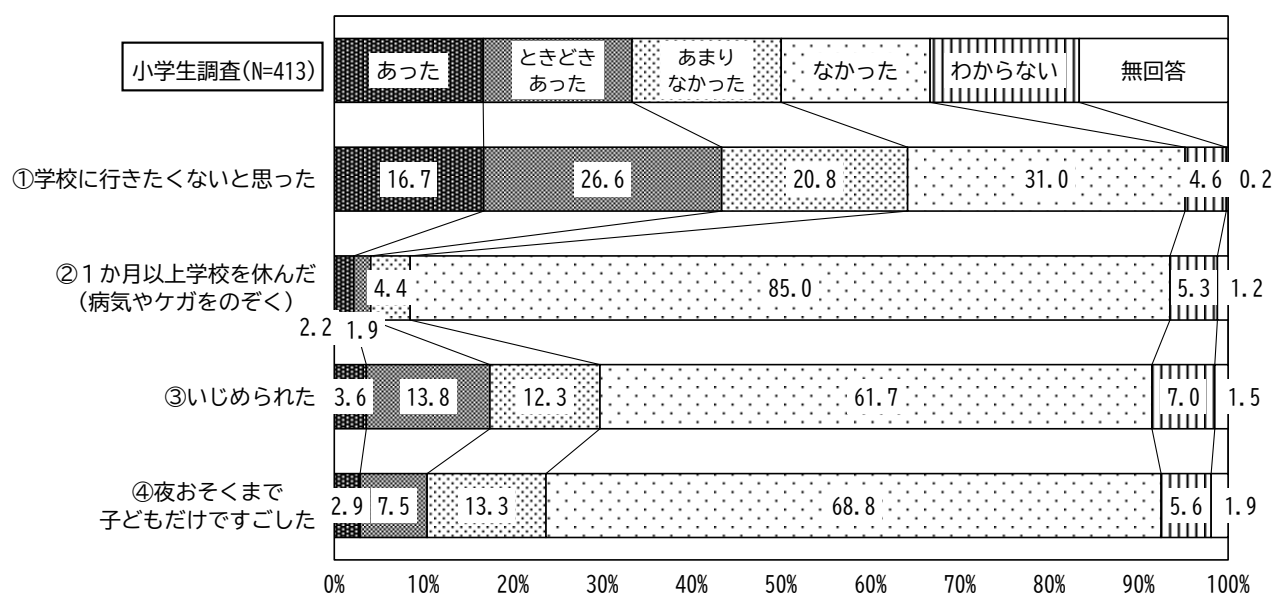
○不登校やいじめ等の経験（小学生調査：問 10、中学生調査・高校生世代調査：問 11）

不登校やいじめ等の経験について、『①学校（高校生世代は仕事を含む）に行きたくないと
思った』について、『あった』（「あった」と「ときどきあった」の合計）の割合が、小学生
調査では 43.3%、中学生調査では 52.2%、高校生世代調査では 56.2%と年齢が高くなるに
つれて割合が高くなっている。

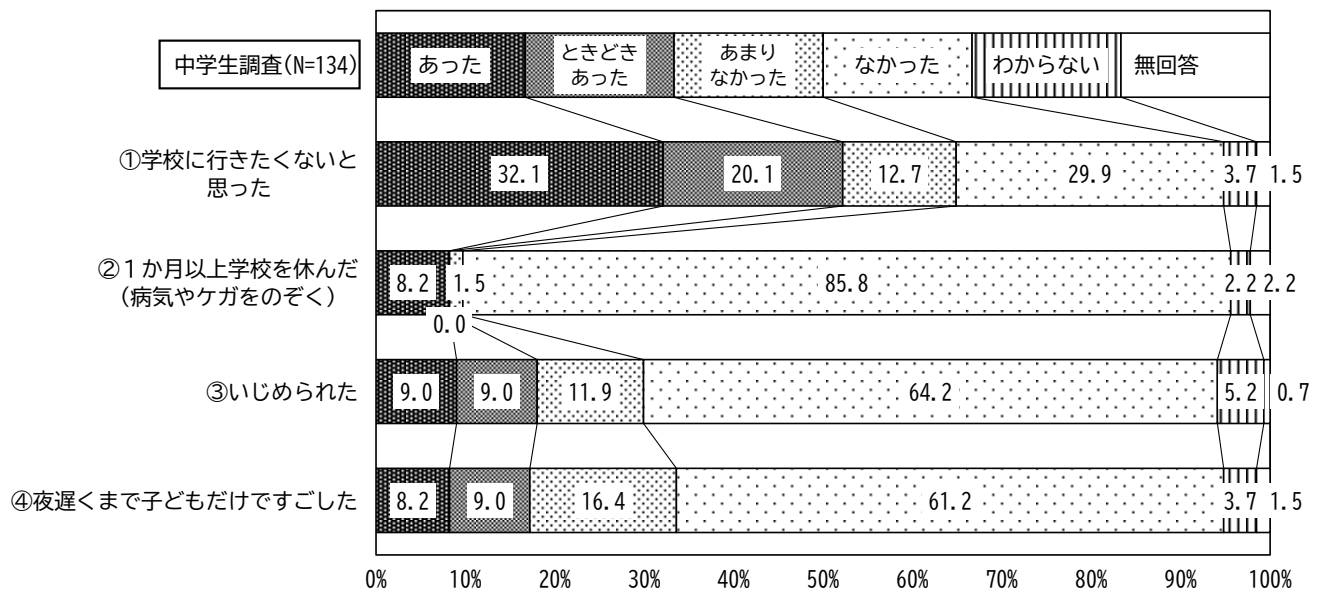
『②1 か月以上学校を休んだ（病気やケガをのぞく）（高校生世代は仕事を含む）』につい
て、『あった』の割合が、小学生調査では 4.1%、中学生調査では 8.2%、高校生世代調査で
は 6.0%となっている。

『③いじめられた』について、『あった』の割合が、小学生調査では 17.4%、中学生調査
では 18.0%、高校生世代調査では 11.3%となっている。

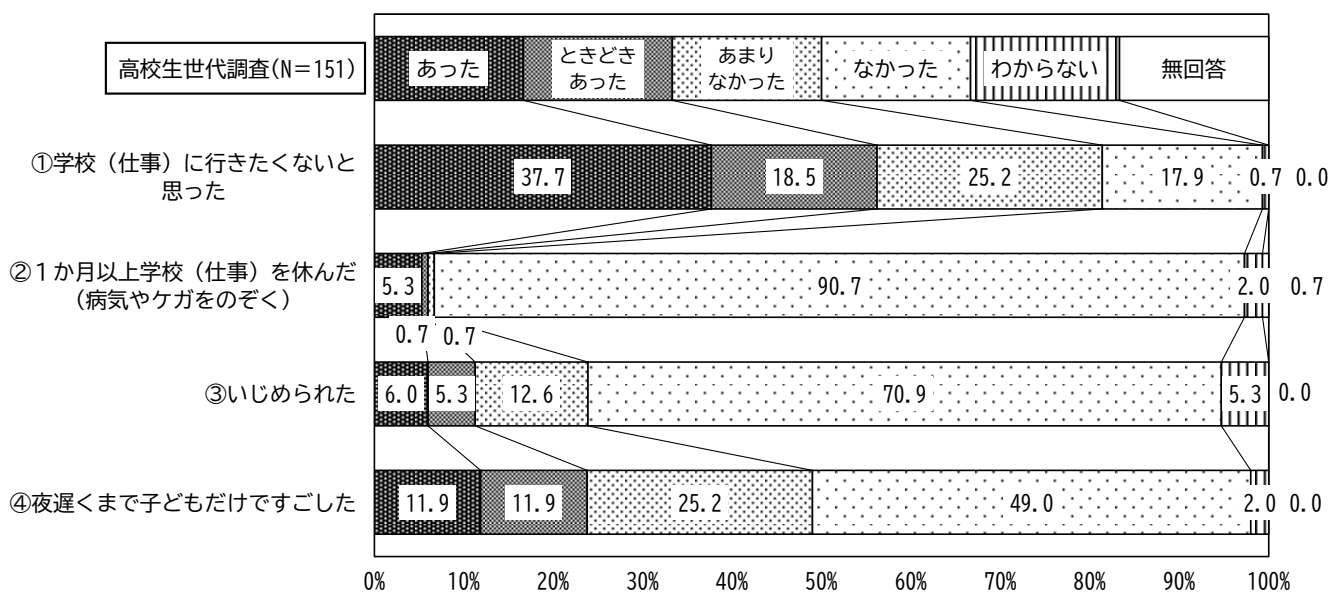
不登校やいじめ等の経験（全体）【小学生調査】



不登校やいじめ等の経験（全体）【中学生調査】



不登校やいじめ等の経験（全体）【高校生世代調査】



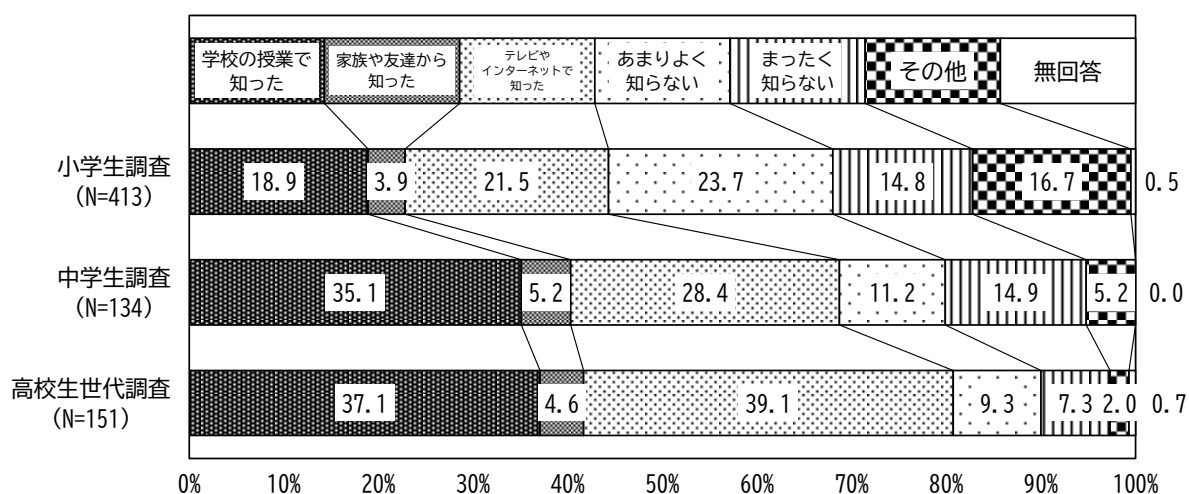
(6) ヤングケアラーについて

○ヤングケアラーの認知度（小学生調査：問 11、中学生調査・高校生世代調査：問 12）

ヤングケアラーの認知度について、《知っている》（「学校の授業で知った」、「家族や友達から知った」、「テレビやインターネットで知った」の合計）の割合が、小学生調査では44.3%、中学生調査では68.7%、高校生世代調査では80.8%と年齢が高くなるにつれて割合が高くなっている。

※ 小学生調査について、「その他（16.7%）」の回答のうち、〔塾で知った〕が11.7%となっている。

ヤングケアラーの認知度（全体）

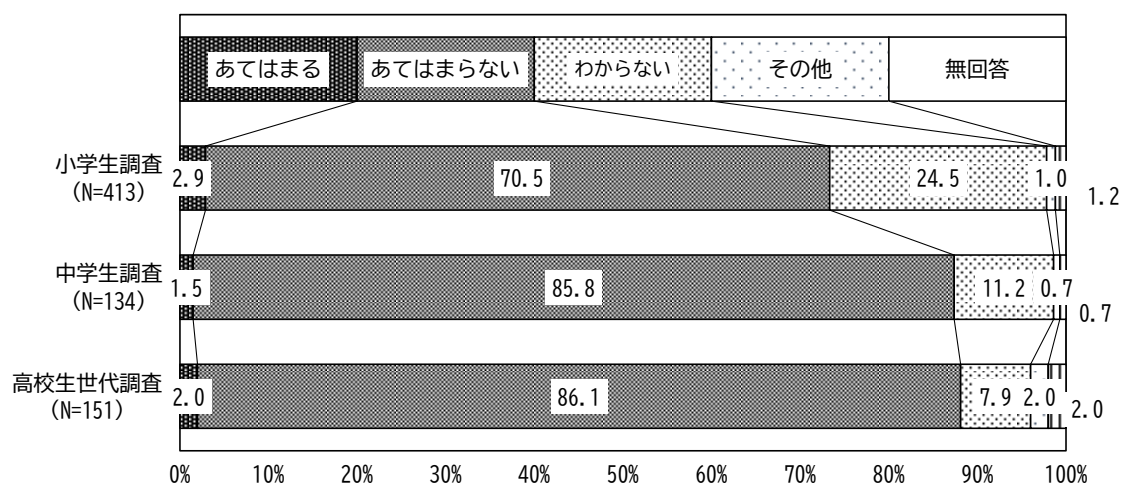


○ヤングケアラーにあてはまると思うか

(小学生調査：問 11-1、中学生調査・高校生世代調査：問 12-1)

ヤングケアラーにあてはまると思うかたずねたところ、『あてはまる』の割合が、小学生調査では 2.9%、中学生調査では 1.5%、高校生世代調査では 2.0%となっている。

ヤングケアラーにあてはまると思うか（全体）



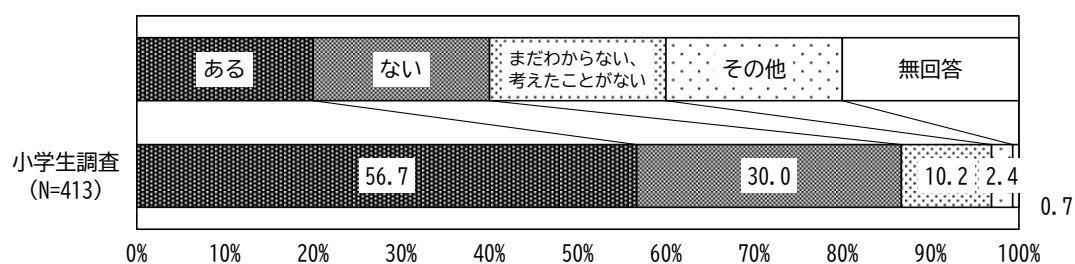
(7) 将来について

○将来なりたい職業ややりたいこと（小学生調査のみ：問12）

将来なりたい職業ややりたいことについてたずねたところ、『ある』と回答した人の割合は、56.7%となっている。

『ある』と回答した人に、それは何かたずねたところ、〔スポーツ選手〕（例：バスケットボール選手、サッカー選手、ダンサー）や〔医師〕、〔薬剤師〕、〔看護師〕、〔先生〕（保育士）、〔獣医〕などの職業が比較的多く挙げられた。

将来なりたい職業ややりたいことがあるか（全体）



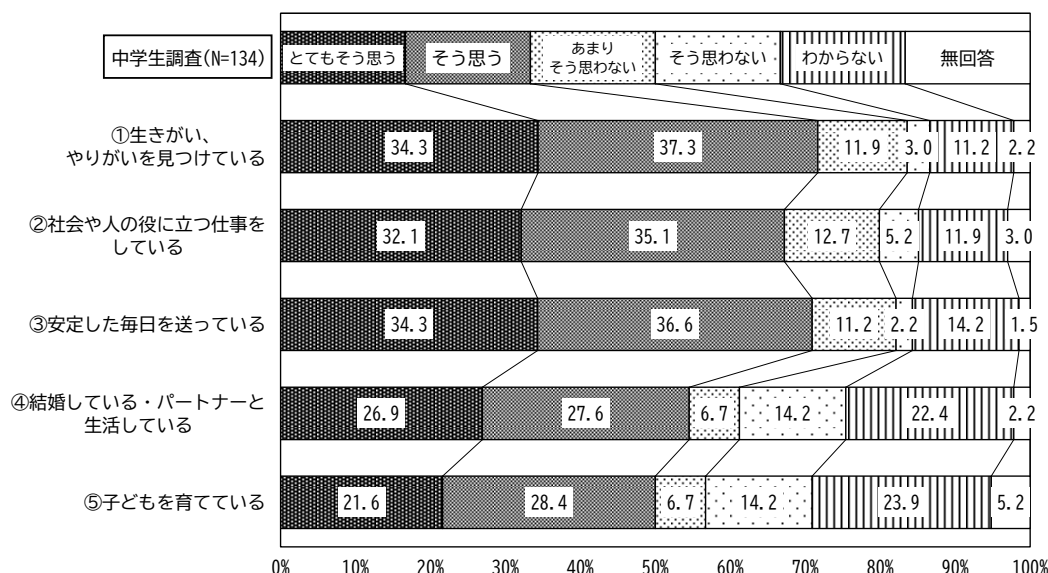
○20 年後の自分のイメージ（中学生調査・高校生世代調査のみ：問 13）

20 年後の自分のイメージは、『《そう思う》（「とてもそう思う」と「そう思う」の合計）の割合が、『①生きがい、やりがいを見つけている（中学生調査：71.6%、高校生世代調査：70.9%）』、『②社会や人の役に立つ仕事をしている（中学生調査：67.2%、高校生世代調査：70.8%）』、『③安定した毎日を送っている（中学生調査：70.9%、高校生世代調査：70.8%）』について、いずれの調査でも 6 割を超えている。

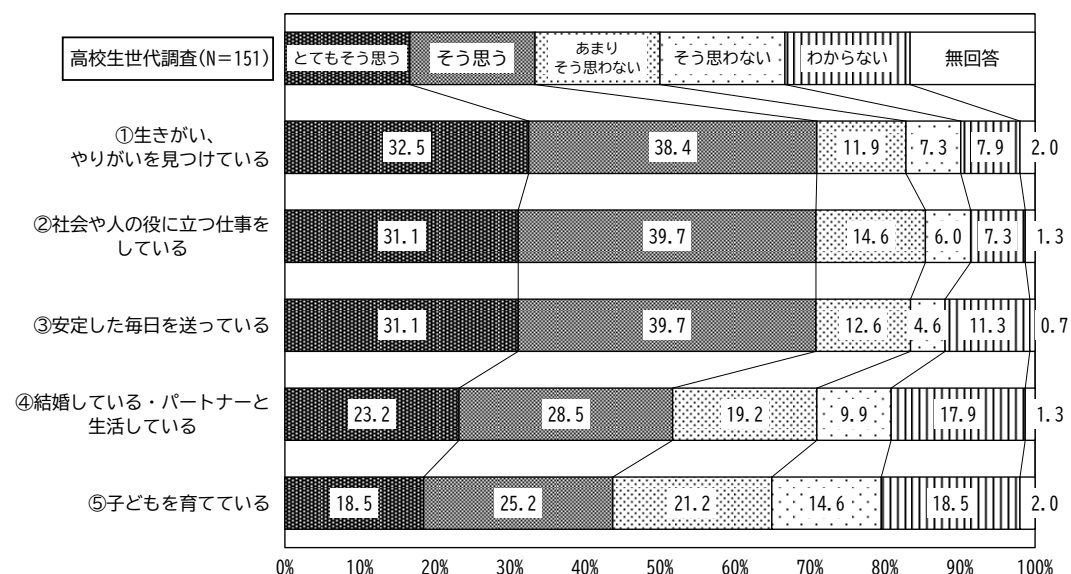
『④結婚している・パートナーと生活している』について、『《そう思う》の割合が、中学生調査では 54.5%、高校生世代調査で 51.7%となっており、いずれの調査も 5 割を超えている。

『⑤子どもを育てている』について、『《そう思う》の割合が、中学生調査では 50.0%、高校生世代調査では 43.7%となっている。

20年後の自分のイメージ（全体）【中学生調査】



20年後の自分のイメージ（全体）【高校生世代調査】

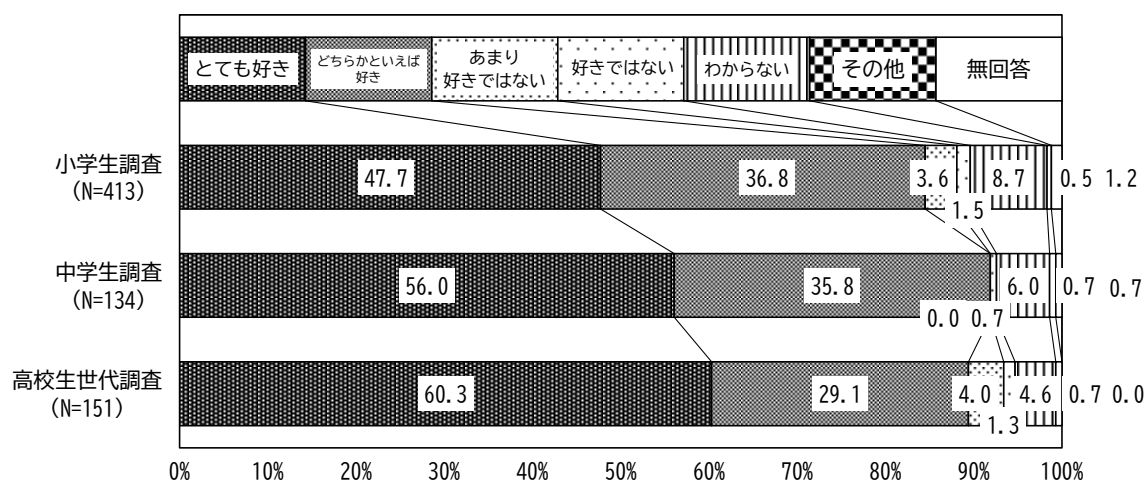


(8) 中央区について

○中央区が好きか（小学生調査：問 13、中学生調査・高校生世代調査：問 14）

中央区が好きかたずねたところ、《好き》（「とても好き」、「どちらかといえば好き」の合計）の割合が、小学生調査では 84.5%、中学生調査では 91.8%、高校生世代調査では 89.4% となっており、いずれの調査でも 8 割を超えている。

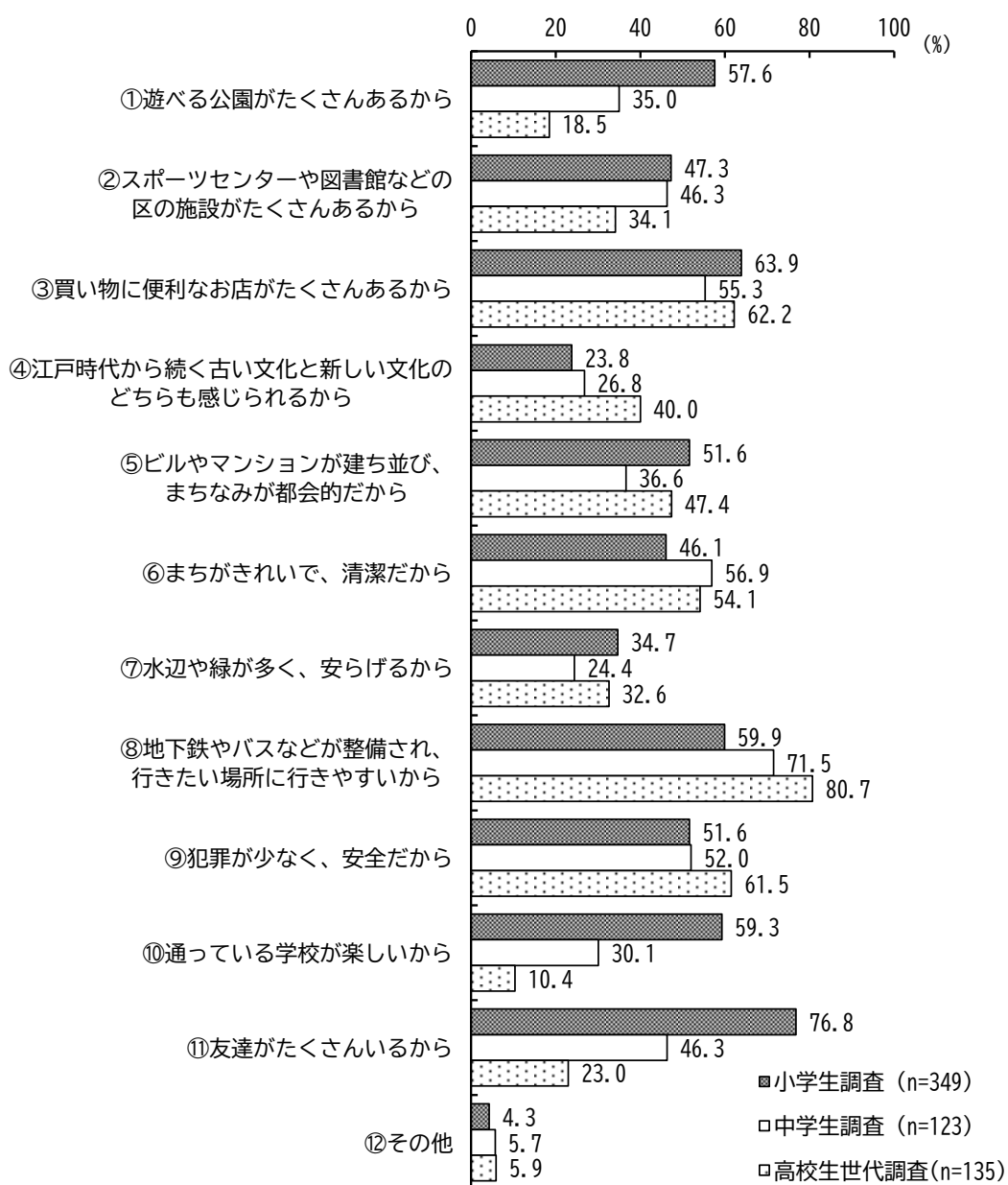
中央区が好き（全体）



○中央区が好きな理由（小学生調査：問 13-1、中学生調査・高校生世代調査：問 14-1）

中央区が『とても好き』、もしくは、『どちらかといえば好き』と回答した人に、中央区が好きな理由をたずねたところ、小学生調査では、『⑪友達がたくさんいるから（76.8%）』が最も高く、中学生調査と高校生世代調査では、『⑧地下鉄やバスなどが整備され、行きたい場所に行きやすいから』が最も高く、中学生調査では 71.5%、高校生世代調査では 80.7%となっている。

中央区を好きな理由（全体）：複数回答
 <中央区がとても好き、もしくは、どちらかといえば好きと回答した人>



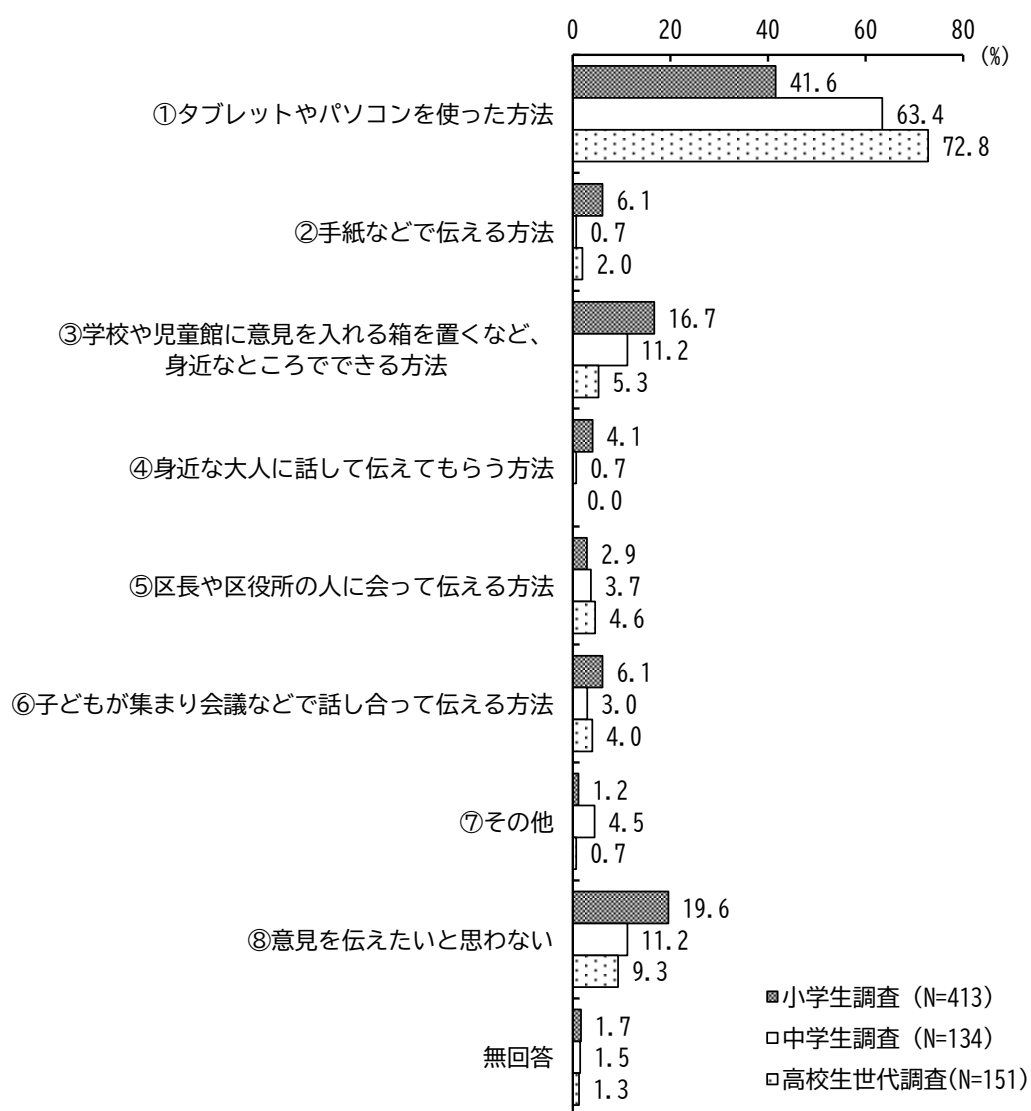
○中央区に対して意見を伝えやすい方法

(小学生調査：問 14、中学生調査・高校生世代調査：問 15)

中央区に対して意見を伝えやすい方法については、いずれの調査でも、『①タブレットやパソコンを使った方法』が最も高く、小学生調査では 41.6%、中学生調査では 63.4%、高校生世代調査では 72.8%となっている。

次点では、『③学校や児童館に意見を入れる箱を置くなど、身近なところでできる方法』が、いずれの調査でも高く、小学生調査では 16.7%、中学生調査では 11.2%、高校生世代調査では 5.3%となっている。

中央区に対して意見を伝えやすい方法（全体）



(9) 自由回答（小学生調査：問 15、中学生調査・高校生世代調査：問 16）

中央区やまわりの大人の人に伝えたいことやお願いしたいこと、アンケートへの意見・感想などに関して、自由記述方式でたずねたところ、小学生調査は全体で 159 件、中学生調査は全体で 40 件、高校生世代調査は全体で 55 件の回答があった。

テーマ分類ごとの意見数と、主な意見の要約を以下のとおり掲載する。

【小学生調査】

意見内容	件数
居場所・施設について	28 件
・ 友達と遊べる場所が少ないので、室内の遊び場などがもう少し増えると良い。 ・ はるみらいのような施設をもっと増やしてほしい。	
学校生活について	27 件
・ いじめをなくしてほしい。 ・ 校則を見直してほしい。	
公園・体を動かせる場所について	24 件
・ ボール遊びができたり、高学年も遊べる遊具のある広場や公園を増やしてほしい。 ・ サッカーコートやバスケットコートを増やしてほしい。	
アンケートの感想について	17 件
・ 自分のことや友達、社会を見直すきっかけになった。 ・ 今回のように、子どもの意見を聞いてくれるのはとても良いことだと思う。	
環境問題について	10 件
・ 地球温暖化が進んでいるので、対策を進めてほしい。 ・ もっと緑を増やしてほしい。	
交通について	8 件
・ 江戸バスの停留所をもっと増やしてほしい。 ・ 信号がない横断歩道に信号機を設置してほしい。	
ゴミ・タバコについて	8 件
・ ゴミのポイ捨てが目立つので、対策をしてほしい。 ・ 通学路など、子どもの前でタバコを吸うのをやめてほしい。	
再開発について	7 件
・ 高層マンションが増え続けているが、下町風景や緑も残してほしい。	
イベントについて	5 件
・ 近所の方と交流する機会が少ないので、もう少し交流する機会を作してほしい。	
治安について	5 件
・ 不審者の目撃情報等が多いので、パトロールを強化してほしい。	
その他	18 件
・ 大人やまわりの人が、もっと子どもにやさしくしてほしい ・ みんなで助け合いながら暮らせる中央区になってほしい	

【中学生調査】

意見内容		件数
公園・体を動かせる場所について		10 件
・もう少しボール遊びができる場所を増やしてほしい。 ・一部の公園の公衆トイレが汚れていて、虫が沢山いるので改善してほしい。		
居場所・施設について		8 件
・中学生、高校生世代が無料で遊べるインターネットの整った室内のスペースが欲しい。 ・もう少し中学生でも買い物がしやすいお店やショッピングモールを増やしてほしい。		
ゴミ・タバコについて		3 件
・道路脇の花壇にゴミがポイ捨てされているのが気になる。 ・路上喫煙をしている人が多く、タバコのポイ捨てがとても多い。		
アンケートの感想について		2 件
・アンケートに答えてみて、将来に向かって勉強を頑張ろうと思った。		
交通について		2 件
・江戸バスを片側ではなく、往復で運行してほしい。		
再開発について		2 件
・マンションがどんどん増えて、自然が少なくなってきた気がする。綺麗な自然を感じられるようなまちにしてほしい。		
イベントについて		1 件
・お祭りなどどの年代でもふれあい、楽しめる機会を増やしてほしい。		
その他		12 件
・私立に通う子どもには、地域の情報が入らないことが多いので、インターネットを使って情報を受け取りたい。 ・中央区の治安の良さや街の景観を保ちつつ、みんなが平等で平和な区にしてほしい。		

【高校生世代調査】

意見内容		件数
居場所・施設について		13 件
	・ 中高生が気軽に遊べる場所が少ないので、増やしてほしい。 ・ はるみらいのように、区民館等でいつでも勉強できるようにしてほしい。	
学習環境について		8 件
	・ 小学生への英語教育をもっと充実させてほしい。 ・ 子ども達がやりたいことに取り組み、発想力や想像力がより豊かになるような環境を作してほしい。	
公園・体を動かせる場所について		8 件
	・ 子供たちが安心して遊べて、施設が充実した公園をつくってほしい。 ・ サッカーの練習をしたいが、気軽に使える公園がないので、もう少し広くて球技に適した公園がほしい。	
ゴミ・タバコについて		5 件
	・ 路上喫煙をしている人が多く見受けられるので、厳しく取り締まりをしてほしい。	
交通について		5 件
	・ 自転車レーンと歩道を分けてほしい。	
アンケートの感想		5 件
	・ 子どもの声を聞いてくれる機会がさらに増えると嬉しい。	
イベントについて		4 件
	・ 夏祭りなど、楽しい行事を増やしてほしい。	
その他		7 件
	・ 中央区は、新しさ、歴史どちらも感じるができることが魅力だと思うので、そこはずっと守ってほしい。 ・ 若い人の選挙の投票率が低いのは中央区も例外ではないと思うので、学校などで選挙の大切さをもっと周知してほしい。	